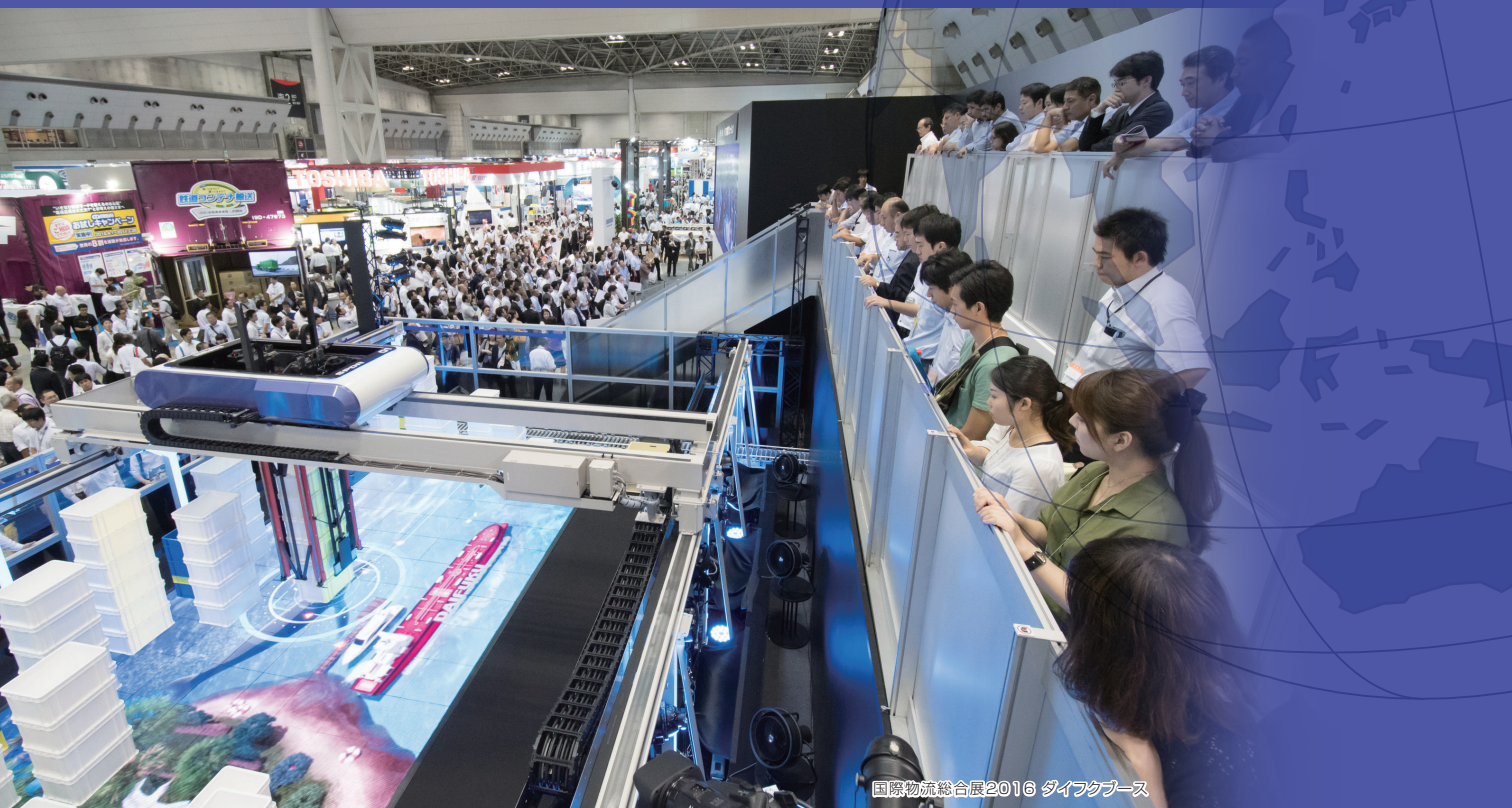


# DAIFUKU

Always an Edge Ahead



国際物流総合展2016 ダイフクブース

株式会社ダイフク

# BUSINESS REPORT

第101期 第2四半期報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日

証券コード 6383

## 収益性改善 受注見通しも順調



代表取締役社長  
北條 正樹

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国では緩やかな回復基調にあり、懸念された英国のEU離脱に伴う混乱も限定的なものに止まりました。新興国は成長鈍化により、景況感は横ばいで推移しました。

わが国経済は、雇用や所得環境などの指標は堅調ですが、景気全体としては足踏み状態が続いています。

当社グループの業績は、おおむね本年8月に発表した業績予想どおりに進捗いたしました。期初計画に対する受注計上の遅れは、第3四半期連結会計期間でカバーし、通期では、期初計画の目標値3,300億円を達成できる見通しです。売上は、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。

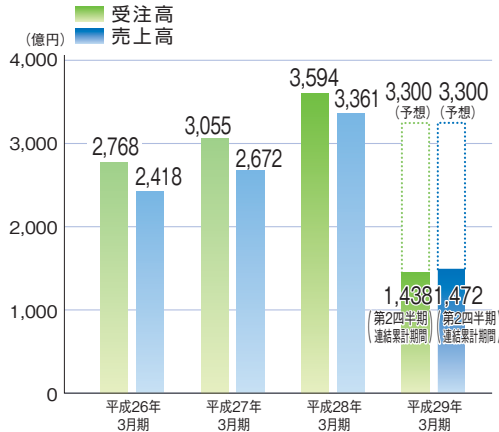
この結果、受注高は1,438億90百万円(前年同期比30.1%減)、売上高は1,472億64百万円(同3.6%減)となりました。

利益は、米国子会社の大幅な収益改善、ダイフク単体の増収や原価改善、空港向けシステムを手がける欧州子会社の黒字転換などが寄与しました。

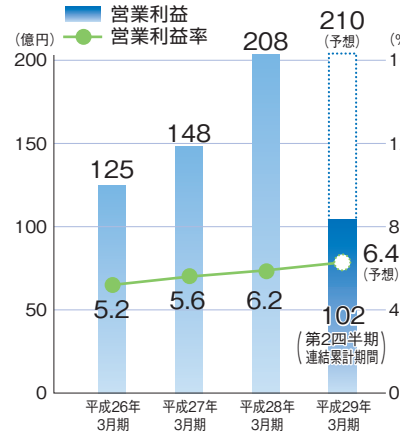
この結果、営業利益は102億8百万円(同19.4%増)、経常利益は102億53百万円(同12.3%増)を計上しました。

## 財務ハイライト

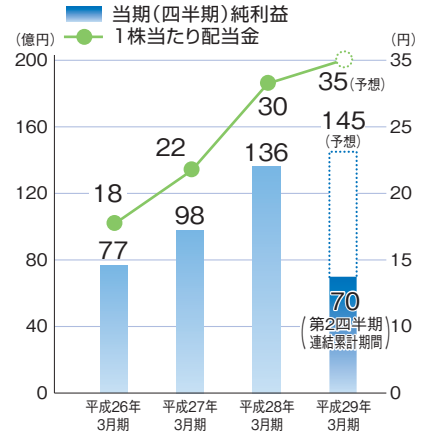
### 受注高・売上高



### 営業利益・営業利益率



### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

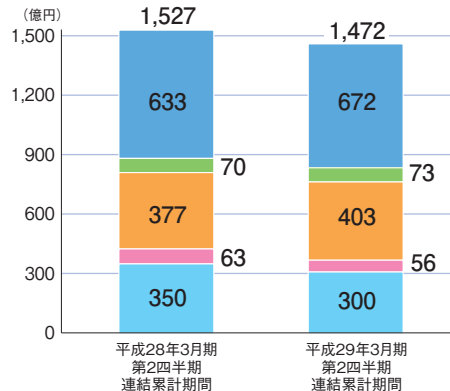


また、親会社株主に帰属する四半期純利益は70億72百万円(同14.3%増)となりました。

セグメント別では、北米のDaifuku North America Holding Companyが好調で、増収効果や空港向けシステムの収益改善により、増益をけん引しました。一方、アジアなどの子会社を中心とするその他は、東アジアの半導体・液晶業界の設備投資変動の影響を強く受けました。ダイフクやコンテックは、ほぼ前年並みでした。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜われますようお願い申し上げます。

### セグメント別売上高



### セグメント利益 (四半期純利益)

|       |    |      |
|-------|----|------|
| ダイフク  | 41 | (42) |
| コンテック | 1  | (2)  |
| DNAHC | 19 | (3)  |
| DPM   | 0  | (0)  |
| その他   | 8  | (17) |

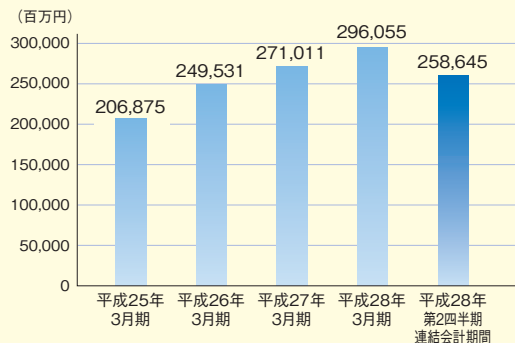
( )は前年同期

※売上高の総額は連結調整後の数値です。

総資産

2,586億45百万円

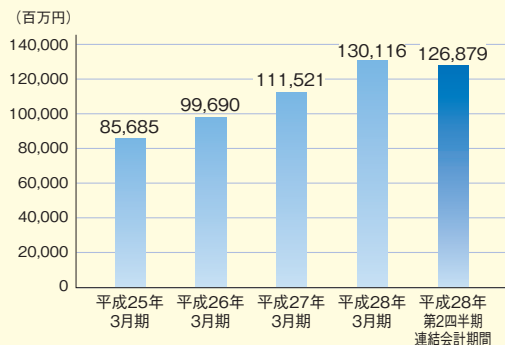
受取手形・完成工事未収入金等、流動資産のその他が減少しました。



純資産

1,268億79百万円

利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定などのその他の包括利益累計額合計の減少による影響を受けました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

|                    | 当第2四半期連結会計期間<br>(平成28年9月30日) | 前連結会計年度<br>(平成28年3月31日) |
|--------------------|------------------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>        |                              |                         |
| 流動資産               | 182,630                      | 214,324                 |
| 固定資産               | 76,015                       | 81,731                  |
| 有形固定資産             | 31,641                       | 32,881                  |
| 無形固定資産             | 14,478                       | 17,072                  |
| 投資その他の資産           | 29,895                       | 31,776                  |
| <b>資産合計</b>        | <b>258,645</b>               | <b>296,055</b>          |
| <b>負債の部</b>        |                              |                         |
| 流動負債               | 92,703                       | 115,031                 |
| 固定負債               | 39,063                       | 50,907                  |
| <b>負債合計</b>        | <b>131,766</b>               | <b>165,938</b>          |
| <b>純資産の部</b>       |                              |                         |
| 株主資本               | 128,392                      | 123,669                 |
| 資本金                | 15,016                       | 15,016                  |
| 資本剰余金              | 15,902                       | 15,794                  |
| 利益剰余金              | 99,137                       | 94,501                  |
| 自己株式               | △ 1,663                      | △ 1,642                 |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>△ 4,369</b>               | <b>3,383</b>            |
| その他有価証券評価差額金       | 3,159                        | 3,206                   |
| 繰延ヘッジ損益            | △ 22                         | 22                      |
| 為替換算調整勘定           | △ 1,248                      | 7,730                   |
| 退職給付に係る調整累計額       | △ 6,257                      | △ 7,576                 |
| <b>非支配株主持分</b>     | <b>2,856</b>                 | <b>3,063</b>            |
| <b>純資産合計</b>       | <b>126,879</b>               | <b>130,116</b>          |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>258,645</b>               | <b>296,055</b>          |

連結損益計算書

(単位：百万円)

|                     | 当第2四半期連結累計期間<br>(自平成28年4月1日<br>至平成28年9月30日) | 前第2四半期連結累計期間<br>(自平成27年4月1日<br>至平成27年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高                 | 147,264                                     | 152,791                                     |
| 売上原価                | 116,602                                     | 124,299                                     |
| <b>売上総利益</b>        | <b>30,661</b>                               | <b>28,492</b>                               |
| 販売費及び一般管理費          | 20,453                                      | 19,945                                      |
| <b>営業利益</b>         | <b>10,208</b>                               | <b>8,547</b>                                |
| 営業外収益               | 833   | 893   |
| 営業外費用               | 788   | 310   |
| <b>経常利益</b>         | <b>10,253</b>                               | <b>9,130</b>                                |
| 特別利益                | 60  | 542   |
| 特別損失                | 86  | 883   |
| <b>税金等調整前四半期純利益</b> | <b>10,228</b>                               | <b>8,788</b>                                |
| 法人税、住民税及び事業税        | 2,936                                       | 2,923                                       |
| 法人税等調整額             | 158   | △ 430                                       |
| 法人税等合計              | 3,095                                       | 2,492                                       |
| <b>四半期純利益</b>       | <b>7,133</b>                                | <b>6,295</b>                                |
| (内訳)                |   |   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益    | 7,072                                       | 6,184                                       |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益    | 61  | 111   |

連結キャッシュ・フロー計算書

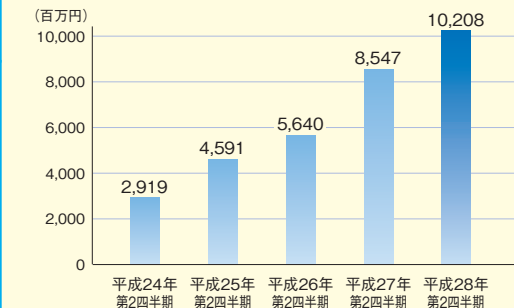
(単位：百万円)

|                         | 当第2四半期連結累計期間<br>(自平成28年4月1日<br>至平成28年9月30日) | 前第2四半期連結累計期間<br>(自平成27年4月1日<br>至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>5,267</b>                                | <b>6,770</b>                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △ 2,976                                     | △ 491                                       |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △ 3,118                                     | △ 2,587                                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | △ 4,134                                     | 132   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)     | △ 4,961                                     | 3,823                                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 49,084                                      | 54,081                                      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | 44,122                                      | 57,904                                      |

営業利益

102億8百万円

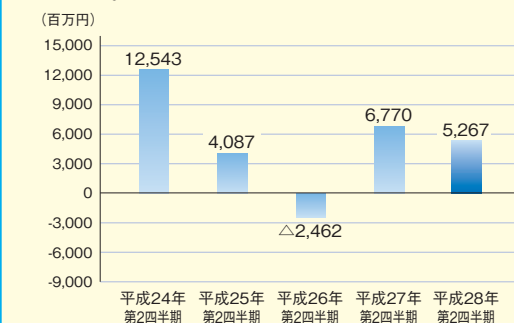
米国会社の収益改善、ダイフク単体の増収や原価改善などが寄与しました。



営業活動によるキャッシュ・フロー

52億67百万円

売上債権が減少し、税金等調整前四半期純利益が増加しました。



# SPDR

## 自動車部品物流市場を拓く 多様なケースの一時保管・仕分けシステム

### 自動車業界に5,000km以上の実績

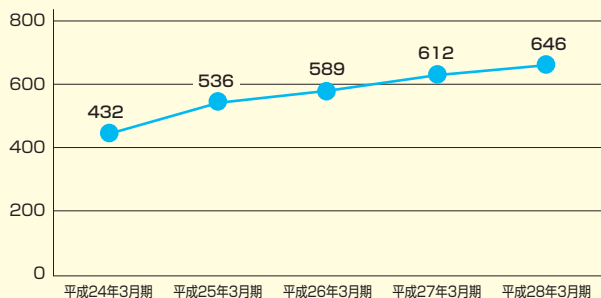
ダイフグループは世界の自動車業界へ、主に車体を搬送するコンベヤシステムを1世紀近くにわたり納めてきました。その総延長は5,000km以上に達し、当社のマザー工場のある滋賀県からシンガポールまでの距離に相当します。

同業界へはエンジン検査装置などの搬送コンベヤ以外のシステムも多数納入し、それらを合わせた売上高は【表】のように堅調に推移しています。

また、数年前より同市場におけるさらなる成長を狙い、自動車部品物流分野にも力を入れ、その一環として一時保管・仕分けシステム「SPDR(スパイダー)」を開発し販売を開始しています。

9月に東京ビッグサイトで行われた国際物流総合展2016では、SPDR実機による展示を行い、新しい物流のソリューションとして1万2,000名以上の来場者にアピールしました。(表紙写真)

【表】自動車・自動車部品向け売上高推移



### 部品物流は“宝の山”

自動車生産では1台当たり2~3万点にも上る部品を使用します。さまざまなサプライヤーから納入される大量の部品を効率よく管理し、組立ラインに搬送する能力の優劣はコストに大きな影響を与えます。

部品の受け入れ → 一時保管 → 仕分け・出庫の作業は、生産ラインほどの自動化はできず、人手に頼らざるを得ない作業も残っています。改善の余地が多く残っていることから、部品物流は“最後の宝の山”と呼ばれ、ここ数年自動化のニーズが急速に高まっており、効率化による利益寄与も期待されています。

### 自動化への壁

従来の常識では、“自動化には取扱品の標準化が必要”でした。しかしながら、日本の自動車業界の商慣習では、納品の際に部品を入れるケースはサプライヤーの所有物で、各社各様のケースで納品されます。また、部品によって大きさや形状が異なるため、ケースを統一することは難しい状況です。そこで、業界の慣習を変えずに使用できる製品の開発に着手しました。

平積みスタイルのまま自動化するため、搬送機械はケースの上を縦・横に走行するデザインに決定。ケースをつかむ独自構造の開発により、世界で初めて多様な種類・サイズのケースを1台で取り扱うことができるSPDRを開発しました。

## 今までにない「柔軟」な「自動化」

SPDRには“棚”がありません。棚を使わないことで、従来の平積みの運用を変えずに済むだけでなく、お客様の悩みを解決することができました。

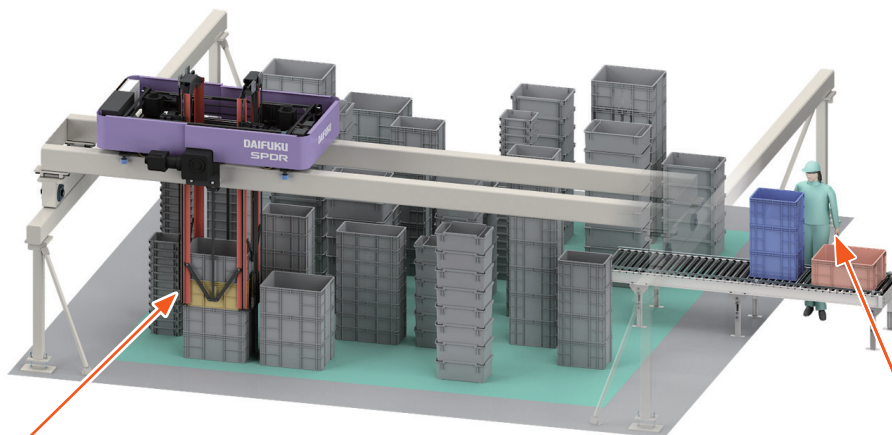
- ✓ 多様な種類・サイズのケースを保管・仕分けできる
- ✓ 物量が変わっても最適配置で高効率保管をキープ
- ✓ 最短2日間で据付可能
- ✓ 移設やレイアウト変更が容易にできる
- ✓ ケースピッキング機能で効率良く仕分け・荷揃え
- ✓ 非常時には人手による出庫が可能

## 食品業界などからも反響

従来の製品群にSPDRが加わったことで、ケース物流へのソリューションの間口が広がりました。

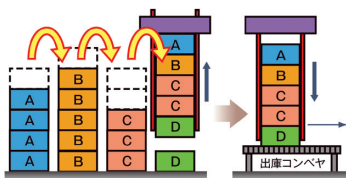
自動車メーカーからの初受注に続き、自動車業界からの問い合わせ、引き合いに対応していますが、今回の出展をきっかけに、食品業界や海外からも反響があります。

これらの新しい市場への対応、またSPDRから出庫するケースを無人搬送車に直接載せるなどの従来にない提案を含め、積極的な拡販を行っていきます。

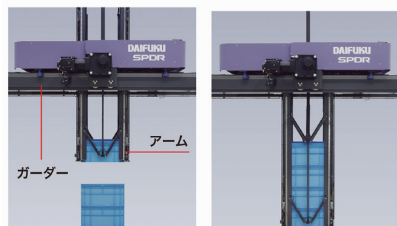


### 出庫パターン

#### ケースピッキング出庫



底面形状が同じであれば、異なるケースを段積み出庫できます。先入れ先出し、ロット出庫も可能です。



1 ケースの移動

複数ケースの移動

目的のケースが何段目にあっても、スムーズに入出庫できます。



タブレット端末による操作が可能。直感的にわかりやすく簡単に操作できます。

## 市場が拡大する中国で生産強化

中国では、輸出から内需へ、製造業からサービス業への移行という経済構造の変化に対応するため、マテリアルハンドリングシステムの需要が急速に高まっています。特に鮮度やトレーサビリティが求められる食品・医薬品、eコマースを含む流通業でニーズが高まっています。

需要拡大の好機を捉えるため、2016年5月に上海現地法人の本社兼工場を近郊に移転しました。一般製造業・流通業向け製品の生産能力は旧工場の2.5倍となり、営業・エンジニアリングから設計、製造、工事・サービスまでを一貫して提供する体制を整えました。



大福(中国)物流設備有限公司の新社兼工場

## 創立80周年に向けて東京本社を移転

当社は、2017年5月20日に創立80周年を迎えます。記念事業の一環として、2016年9月に東京本社を移転しました。新本社は、2020年の東京オリンピックにむけて一層の発展が見込まれる汐留地区に立地し、JR浜松町駅に至近の汐留芝離宮ビルディングです。

従来、東京都港区で3カ所に分散していた経営企画部門、管理部門、営業・エンジニアリング部門等を集約し、部門間の緊密な連携と、迅速な意思決定による経営のスピードアップを図ります。



汐留芝離宮ビルディング(14階~18階に入居)

## 「JPX日経インデックス400」に選定

2016年8月、当社は東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で開発し、運営する株価指数「JPX日経インデックス400」に選定されました。

同指数は右表のような基準で選定され、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成されています。構成銘柄の入れ替えの公表後、当社株式の売買高は100万株を超える日が多くあり、投資家の当社に対する関心は確実に高まっています。

当社は、現中期経営計画「Value Innovation 2017」で同指数の採用入りを目指していました。今後もさらなる業績向上を図り、構成銘柄であり続けられるよう努めてまいります。

## JPX-NIKKEI 400

| 主な選定基準 |                    | 当社 <sup>※</sup> |
|--------|--------------------|-----------------|
| 定量的な指標 | 3年平均ROE            | 10.1%           |
|        | 3年累積営業利益           | 483億円           |
|        | 時価総額(6月末)          | 2,247億円         |
| 定性的な要素 | 独立社外取締役の2人以上選任     | ○               |
|        | IFRS採用             | ×               |
|        | 決算情報英文資料のTDnetでの開示 | ○               |

※当社で算出した数値であり、東京証券取引所および日本経済新聞社から提供されたものではありません。



当社は、平成28年6月日本政策投資銀行(DBJ)より健康格付融資を受け、格付結果は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。

融資条件を設定するものです。

全社横断的な専門組織「こころと体の健康づくり委員会」による有所見者率低減への取り組み、運動セミナー、生活習慣病の高リスク者対策などが高く評価されました。

既に「DBJ防災格付」、「DBJ環境格付」も取得しており、

## 「DBJ健康経営格付」で最高ランクを取得

2016年6月、当社は株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が実施する「DBJ健康経営格付」制度で最高ランクの格付を取得しました。同格付は、DBJ独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みに優れた企業を評価・選定し、評価に応じて融

資条件を設定するものです。DBJの評価認証型融資制度に基づく3つの格付を全て取得しました。



外部講師を招いて「職場でエクササイズ」を定期開催



## 第9回 株主様向け「日に新た館」見学会

10月7日・24日に株主様向け「日に新た館」見学会を開催しました。東は茨城から西は福岡まで、約200名の方々にご参加いただきました。

北條社長よりダイフグループの成長戦略などをご説明したあと、日に新た館で当社の主要製品や、新たに設置した「D-PAD(ディーパッド)」のデモンストレーションをご見学

いただきました。また、バーチャルテクノロジーを活用した最新の製品開発手法等をまとめた映像もご覧いただきました。

日頃なかなか見ることのできないマテリアルハンドリングシステムを直接ご覧いただき、当社への理解をより一層深めていただきました。



北條社長のプレゼンテーション



非接触充電システム「D-PAD」のデモンストレーション

## 個人投資家様向けIRイベント出展のご案内

2016年12月、個人投資家様向けIRイベント「野村IR資産運用フェア2016」(入場無料)に出展いたします。多数のご来場をお待ち申し上げております。

名 称 : **「野村IR資産運用フェア2016」**

<http://fair.nomura-ir.co.jp/ja/index.html>

開催日時 : 2016年12月13日(火)・14日(水) 10:00-18:00

場 所 : 有楽町 東京国際フォーラム B2F ホールE 当社ブース 56番  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

## 社是 Company Creed

今日の「われ」は  
 昨日の「われ」にあらず  
 明日の「われ」は  
 今日の「われ」にとどまるべからず

Today we are doing better  
 than we were yesterday.  
 Tomorrow we will be growing  
 ahead of where we are today.



Hini Arata

## 経営理念 Management Philosophy

1. 最適・最良のソリューションを提供し、世界に広がるお客さまと社会の発展に貢献する。
  2. 自由闊達な明るい企業風土のもと、健全で成長性豊かなグローバル経営に徹する。
1. Provide the best solutions to benefit the global markets and the development of society.
  2. Focus on healthy, growth-driven global management under a diverse and positive corporate culture.

## 会社概要

(平成28年9月30日現在)

|      |   |
|------|---|
| 商号   | 株式会社ダイフク  |
| 設立   | 1937年(昭和12年)5月20日   |
| 資本金  | 15,016,105,168円   |
| 代表者  | 代表取締役社長 北條 正樹   |
| 従業員数 | 8,040名(グループ総数)  |
| 主要拠点 | 本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11<br>TEL : 06-6472-1261(代)              |
|      | 東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3<br>汐留芝離宮ビルディング<br>TEL : 03-6721-3501(代) |
| 事業所  |   |
| 滋賀   | 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225<br>TEL : 0748-53-0321(代)                 |
| 小牧   | 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103<br>TEL : 0568-74-1500(代)                   |
| 支店   | 北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋<br>東海、北陸、大阪、中国、九州                        |
| 海外   | 支店や現地法人を22の国と地域に展開しています。  |

## 役員一覧

(平成28年9月30日現在)

|           |        |
|-----------|--------|
| 代表取締役社長   | 北條 正樹  |
| 代表取締役副社長  | 田中 章夫  |
| 代表取締役副社長  | 猪原 幹夫  |
| 取締役専務執行役員 | 本田 修一  |
| 取締役常務執行役員 | 岩本 英規  |
| 取締役常務執行役員 | 中島 祥行  |
| 取締役常務執行役員 | 佐藤 誠治  |
| 取締役常務執行役員 | 下代 博   |
| 取締役       | 柏木 昇   |
| 取締役       | 小澤 義昭  |
| 常務執行役員    | 井狩 彰   |
| 常務執行役員    | 木村 正   |
| 常務執行役員    | 阿武 寛二  |
| 執行役員      | 佐々木 健  |
| 執行役員      | 信田 浩志  |
| 執行役員      | 堀場 義行  |
| 執行役員      | 岸田 明彦  |
| 執行役員      | 林 智亮   |
| 執行役員      | 上本 貴也  |
| 執行役員      | 西村 章彦  |
| 執行役員      | 一之瀬 善久 |
| 執行役員      | 権藤 卓也  |
| 執行役員      | 三品 康久  |
| 執行役員      | 喜多 浩明  |
| 監査役(常勤)   | 黒坂 達二郎 |
| 監査役(常勤)   | 木村 義久  |
| 監査役       | 北本 功   |
| 監査役       | 鳥井 弘之  |
| 監査役       | 相原 亮介  |

(注) 取締役 柏木昇、小澤義昭は、社外取締役であります。  
 監査役 北本功、鳥井弘之、相原亮介は、社外監査役であります。

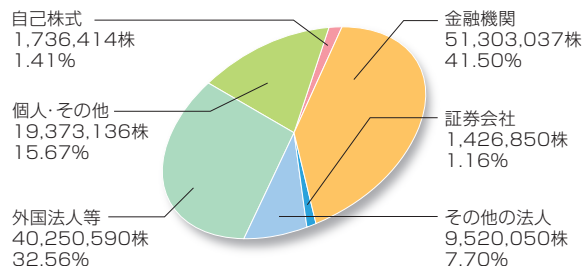
## 株式情報

(平成28年9月30日現在)

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 250,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 123,610,077株 |
| 株主数      | 13,376名      |

\*前期末より株主数が1,367名減少いたしました。

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

|        |   |
|--------|---|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会 | 6月開催  |
| 基準日    | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice/>

|                       |                                   |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 上場証券取引所               | 東京第1部                             |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人               | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号                  |
| 事務取扱場所                | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                |

## 第101期 中間配当金のお支払いについて

第101期中間配当金は、平成28年11月10日開催の取締役会にて、1株につき12円と決議しております。同封の「配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間内（平成28年12月6日から平成29年1月6日まで）にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問合せください。

## 配当金計算書について

配当のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

|                    |   |
|--------------------|---|
| (郵便物送付先)           | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部   |
| (電話照会先)            | ☎ 0120-782-031  |
| (インターネットホームページURL) | <a href="http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html">http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html</a> |

### 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**DAIFUKU**  
Always an Edge Ahead

### 株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：06-6472-1261(代)  
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング TEL：03-6721-3501(代)  
[www.daifuku.com/jp](http://www.daifuku.com/jp)